

【中教室 1/2】令和6年度都情研実態調査 特別支援教室（中学校・義務教育学校後期）

1. 回答拠点校（ブロック）

東ブロック 北ブロック 南ブロック
多摩南ブロック 多摩北ブロック

2. 自治体名 記入例：〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇村

【 _____ 】

3. 回答拠点校（学校名）記入例：〇〇市立△△小学校 【 _____ 立 _____ 】

4. 巡回校数（拠点校+巡回校） 【 _____ 】校

<児童の実態 在籍人数（5月1日認可数）>

5. 1年生の人数 【 _____ 】人

6. 2年生の人数 【 _____ 】人

7. 3年生の人数 【 _____ 】人

<障害別人数>

※都情研調査係による、児童生徒の理解および適切な指導や教育環境、研修体制の充実を図るための教育的分類です。判断は指導にあたる担任の先生が行ってください。診断の有無は問いません。

・重複はしないでください。重なる部分もあると思いますが、現在学級での指導に重点を置いている方で分類をしてください。

8. ★自閉スペクトラム症（ASD） 【 _____ 】人※1

9. 自閉のうち知的に遅れありの数 【 _____ 】人※2

10. 自閉のうち不登校状態の数 【 _____ 】人※3

※1 「自閉スペクトラム症（ASD）」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害（PDD）を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。

※2 「知的発達の遅れなし」の基準は、おおむね学年相当の教科学習に参加できる程度とします。

※3 「不登校状態」の基準は、年間欠席30日以上とします。

11. ★ADHD 【 _____ 】人

12. ADHDのうち知的遅れありの数 【 _____ 】人

13. ADHDのうち不登校状態の数 【 _____ 】人

14. ★情緒不安定 【 】人※4

15. 情緒不安定のうち知的遅れあり 【 】人

16. 情緒不安定のうち不登校状態の数 【 】人

※4 「情緒不安定」とは、心因性の行動障害や不安障害が考えられる状態です。選択性かん黙（場面かん黙）、愛着障害、不適応状態等を含みます。

17. ★LD 【 】人

18. LDのうち知的遅れありの数 【 】人

19. LDのうち不登校状態 【 】人

20. その他 【 】人※5

21. その他のうち知的遅れありの数 【 】人

22. その他のうち不登校状態の数 【 】人

※5 単純な知的障害や生活指導上の課題・非行など

23. 自由記述

【 _____ 】

< 「医師から診断されている障害名」別の数 >

24. ASD 【 】人

25. ADHD 【 】人

26. LD 【 】人

27. 発達障害に関わる服薬をしている数 【 】人

※該当する薬例 「コンサータ」（メチルフェニデート）・「ビバンセ」（リスデキサメフェタミン）・「ストラテラ」「アクセプタ」（アトモキセチン）・「インチュニブ」（グアンファシン）・「エビリファイ」（アリプラゾール）・「リスパダール」（リスペリドン）

28. 自由記述

【 _____ 】

49. 教職経験年数別の人数：0年 【 】人

50. 教職経験年数別の人数：1～2年 【 】人

51. 教職経験年数別の人数：3～5年 【 】人

52. 教職経験年数別の人数：6～9年 【 】人

53. 教職経験年数別の人数：10～19年 【 】人

54. 教職経験年数別の人数：20年～ 【 】人

55. 自由記述

【 _____ 】

56. 特別支援教室経験年数（情緒障害学級含む）別の人数：0年 【 】人

57. 特別支援教室経験年数（情緒障害学級含む）別の人数：1～2年 【 】人

58. 特別支援教室経験年数（情緒障害学級含む）別の人数：3～5年 【 】人

59. 特別支援教室経験年数（情緒障害学級含む）別の人数：6～9年 【 】人

60. 特別支援教室経験年数（情緒障害学級含む）別の人数：10～19年 【 】人

61. 特別支援教室経験年数（情緒障害学級含む）別の人数：20年～ 【 】人

62. 自由記述

【 _____ 】

63. 週指導時間（授業コマ）数別の人数：～9時間 【 】人

64. 週指導時間（授業コマ）数別の人数：10～14時間 【 】人

65. 週指導時間（授業コマ）数別の人数：15～19時間 【 】人

66. 週指導時間（授業コマ）数別の人数：20～24時間 【 】人

67. 週指導時間（授業コマ）数別の人数：25時間～ 【 】人

68. 自由記述

【 _____ 】

69. 全校拠点校の自治体における、出張応援の状況について（時数や人数等）

全校拠点校の地区であり、拠点校から他の拠点校へ巡回することがある場合は、児童数が重複しないように入力してください。またそれにより、巡回指導教員数が重複する場合、その旨（巡回の教員数や週時間数等）を68欄に分かる様に記述してください。

【 _____ 】

【中教室 2/2】令和6年度都情研実態調査 特別支援教室（中学校・義務教育学校後期）

1. 回答拠点校（ブロック）

- 東ブロック 北ブロック 南ブロック
多摩南ブロック 多摩北ブロック

2. 回答拠点校（自治体名）記入例：〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇村

【 _____ 】

3. 回答拠点校（学校名）記入例：〇〇市立△△小学校 【 _____ 立 _____ 】

<指導の実態>

指導内容：自立活動でよく取り上げている内容を4つまで選んで下さい。

4. 学習態勢、基本的行動様式
5. 言語、コミュニケーション
6. 集団参加、社会的行動
7. 運動能力
8. 認知、概念形成
9. 自己理解、行動調整
10. 将来を見通した基礎学力
11. 自由記述

【 _____ 】

12. 指導形態別生徒数：個別指導（小集団指導は全くない）のみ 【 _____ 】人

13. 指導形態別生徒数：小集団指導（一対一の指導は全くない）のみ 【 _____ 】人

14. 指導形態別生徒数：個別と小集団の両方 【 _____ 】人

15. 自由記述

【 _____ 】

